

創徳中学校通信



「どんな」「どのような」を大切に

4月当初、学級目標を決める取組が行われます。各教室を回り、それぞれの目標を見ると、どのような学級を作りたいかあなた達や担任の先生の思いが伝わってきます。

私が40代前半の頃だったでしょうか、あるお医者さん取材したテレビ番組を見ていた時、そのお医者さんの言葉が印象的でした。

「医者は、人の命を預かる仕事です。医者を頼りに心や体の調子の悪い方が病院にやってきます。世の中には医者になりたい、医者を目指している人はたくさんいます。大切なのは、医者になるということではなく、医者を頼りに来院される患者さんにどのように向き合うか。つまり、どんな医者になりたいかが大切なのだと思えます。」

この言葉をヒントに、当時担任をしていた私は学級目標を「心配りができる学級」と子ども達の意見を聞くことなく独断で決めました。そして、子ども達には「楽しく、過ごしやすい学級であってほしいという願いは私も君たちも同じだと思ふ。だから、そんな学級を作るために何ができるかを考えよう。」と話しました。今思えばいささか強引であった感がありますが、子ども達からは具体的に「どんな」ことをする・したいという意見がいくつか出されました。

学級目標が達成されるために、あなた達は「どんな」ことを心がけますか？「どのように」行動しますか？「どんな」「どのように」を明確にすることで他人を気遣える優しい学級をみんなの手で作って上げてください。



本校の経営方針にご意見とご承認をいただきました

第1回創徳中学校運営協議会が5月13日(金)に開催されました。

学校運営協議会は、保護者や地域住民の意向が、学校運営に的確に反映されることを目指して、平成16年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正されて始まりました。鈴鹿市では平成23年4月に小中40校全校が指定され、創徳中学校でも藤見康司 委員長ののもと、年6回の協議会を開催し、学校教育活動の方向性についてご審議いただいています。第1回は、学校経営方針を示し承認やそれに対して委員の方からのご意見を頂戴しました。



優しい姿見つけました

4月に実施された2年生のみえスタディ・チェックでは、全体的に問題へのアクセスに時間がかかるなど不具合が発生したため、三重県としてもシステムの改善を行うなど対策を行いました。1年生のみえスタディ・チェックではスムーズに本番(5月11日)が迎えられるよう、5月6日(金)に操作演習を行いました。そんな中、操作に戸惑っている子に対して優しくサポートしてくれている子がいました。点数には現れませんが先生方はこんな姿もちゃんと見てくれています。



優しい姿見つけました。点数には現れませんが先生方はこんな姿もちゃんと見てくれています。

「教育相談」実施中

5月23日(月)～6月14日(火)の期間「教育相談」を実施します。実施に当たって相談がスムーズに行われるように事前にアンケートを行いました。期待と不安で始まった新学期が始まりもうすぐ2か月になろうとしています。今の心境はどうか。思っていたより楽しい。やっぱりまだ不安な気持ちが多いなど思いは様々でしょう。一つ言えるのは「悩み」は抱え込まないことです。誰かに話すことで気持ちが軽くなったり、解決の糸口が見つかることもあります。相談できるのは教育相談期間中だけではありません。先生方は毎日「Open My Heart」の姿勢です。いつでも気軽に相談してください。

